

安全データシート (SDS)

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称

<製品名> : ゴー太くん PRO 超強力油脂落とし洗剤【薄めて使える原液タイプ】

提供者の情報

<会社名> : ゴーシン株式会社
<住所> : 千葉県野田市下三ヶ尾 103-1
<連絡先> : 電話番号 04-7126-6161
FAX 番号 04-7126-6162

2. 危険有害性の要約

GHS分類

<物理化学的危険性>

- ・引火性液体 : 区分外
- ・自然発火性液体 : 区分外
- ・酸化性液体 : 区分外

<健康に対する有害性>

- ・急性毒性 (経口) : 区分4
- ・皮膚腐食性/刺激性 : 区分1
- ・眼に対する重篤な損傷性・刺激性 : 区分1
- ・皮膚感作性 : 区分1
- ・特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分2 (中枢神経系、腎臓、呼吸器、全身毒性)
- ・特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分2 (血管、肝臓、脾臓、呼吸器)

<環境に対する有害性>

- ・水生環境急性有害性 : 区分3
- ・水性環境慢性有害性 : 区分3

上記に記載のない危険有害性は、分類対象外か分類できないことを示す。

GHSラベル要素

<絵表示またはシンボル>



<注意喚起語>

: 危険

<危険有害性情報>

: 飲み込むと有害
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
重篤な眼の損傷
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
臓器の障害 (中枢神経系、腎臓、全身毒性)
臓器の障害のおそれ (呼吸器)
長期または反復曝露による臓器の障害のおそれ (血管、肝臓、脾臓、呼吸器)

水生生物に有害
長期的影響により水生生物に有害

注意書き

<安全対策>

:すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
換気の良い場所で使用し、ミストを吸入しないこと。
取扱い時は保護手袋、保護衣、保護面／保護眼鏡を着用すること。
取扱い後はよく手などを洗い、うがいと洗顔を行うこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
作業衣等に付着した場合は着替え、汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
環境への放出は避けること。

<応急措置>

:吸入した場合は、空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、医師に連絡し診察を受けること。
皮膚に付着した場合は、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ、皮膚を多量の水を使って洗うこと。直ちに医師の連絡し診察を受けること。汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。
眼に入った場合は、直ちに清浄な流水で数分間注意深く洗眼すること。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡し診察を受けること。
飲み込んだ場合は、直ちに口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪い時は医師の診察を受けること。

<保管>

:高温、凍結のおそれのある場所を避けて保管すること。
施錠して保管すること。

<廃棄>

液が漏出しないように必ず密封して保管すること。
:廃棄物の処理及び清掃に関する法律および関係する法規に従って処理するか、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託処理すること。

3. 組成・成分情報

<単一製品・混合物の区分>

:混合物

<化学名又は一般名>

:液体アルカリ洗浄剤

<成分及び含有率>

水酸化ナトリウム	CAS No.	1310-73-2	5%未満
水酸化カリウム	CAS No.	1310-58-3	5%未満
トリエタノールアミン	CAS No.	102-71-6	5%未満
ジエチレングリコールモノブチルエーテル	CAS No.	112-34-5	5%未満
イソプロピルアルコール	CAS No.	67-63-0	5%未満
直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩	CAS No.	69669-44-9	3%未満
ポリオキシエチレンアルキルエーテル硫酸塩	CAS No.	68585-34-2	1%未満
陰イオン界面活性剤	CAS No.	非公開	3%未満
非イオン界面活性剤	CAS No.	非公開	3%未満
金属イオン封鎖剤	CAS No.	非公開	非公開
安定化剤	CAS No.	非公開	非公開
着色剤	CAS No.	非公開	0.1%未満
水	CAS No.	7732-18-5	バランス

4. 応急措置

- <吸入した場合> : 吸入した場合は、空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、医師に連絡し診察を受けること。
- <皮膚に付着した場合> : 皮膚に付着した場合は、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ、皮膚を多量の水を使って洗うこと。直ちに医師の連絡し診察を受けること。汚染された衣類を再使用する場合は洗濯すること。
- <目に入った場合> : 目に入った場合は、直ちに清浄な流水で数分間注意深く洗眼すること。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡し診察を受けること。
- <飲み込んだ場合> : 飲み込んだ場合は、直ちに口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分の悪い時は医師の診察を受けること。

5. 火災時の措置

- <適切な消火剤> : この製品自体は燃焼しないので、火災の種類に応じた消火剤
- <使ってはならない消火剤> : なし
- <特有の危険有害性> : 情報なし
- <特有の消火方法> : 危険でなければ充填容器を安全な場所に移す。
- <消火を行う者の保護> : 保護手袋、保護マスク、保護眼鏡等の適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- <人体に対する注意事項> : 作業の際は、適切な保護具を着用する。密閉された場所に立ち入る前には換気する。
- <環境に対する注意事項> : 漏洩物が河川などに排出され、環境へ影響を起ささないように注意する。水で洗い流す場合は、汚染された排水が適切に処理されずに環境に流出しないように注意する。
- <中和などの浄化の方法及び機材> : 漏洩した液は、おがくず、土砂、紙などに吸収させ、空容器に回収する。漏出区域周辺は水で洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

- <取扱い上の注意事項> : 取扱い時は、保護眼鏡、保護衣、保護面、保護手袋等の適切な保護具を着用する。
取扱いは、換気の良い場所で行いミストなどの吸入を避ける。
取扱い後は、手洗い、うがい及び洗顔を行い、作業衣等に付着している場合には着替える。
漏れや飛散を防ぐために、取扱いの都度、容器を密閉する。
容器を転倒、落下させる等の衝撃を加える乱暴な取扱をしてはならない。
- <保管上の注意事項> : 高温、凍結のおそれのある場所を避けて保管すること。
施錠して保管すること。
液が漏出しないように必ず密封して保管すること。

8. 暴露防止及び保護措置

- ばく露防止
- <管理濃度> : 設定されていない

<生物学的指標等の許容濃度> : 設定されていない
<ばく露を軽減するための設備対策> : 取扱いは換気の良い場所で行う。

保護措置

<適切な保護具> : 眼の保護には保護面、保護眼鏡、皮膚の保護には保護衣、保護手袋、呼吸器の保護には必要に応じて保護マスクを使用する。

9. 物理的及び化学的性質

<化学品の外観> : 青色透明液
<臭い> : わずかに特異な臭い
<凝固点、沸点、初留点及び沸騰範囲> : データなし
<引火点、自然発火温度> : 引火又は自然発火しない
<燃焼又は爆発範囲の上限、下限> : 燃焼又は爆発しない
<蒸気圧、蒸気密度> : データなし
<比重（相対密度）> : 1.09（20℃）
<溶解度（溶解性）> : 水に溶解易い
<pH> : 12.6（10%希釈液）
<酸化性> : なし

10. 安定性及び反応性

<安定性> : 通常の手扱い条件において安定。
<危険有害反応可能性> : 酸性物質と接触すると中和反応を起こして発熱する。
アルミニウム、亜鉛等の金属を腐食して水素ガスを発生する。
<避けるべき条件> : 高温、凍結
<混触危険物質> : 酸性物質やアルミニウム、亜鉛等の金属との接触。
<危険有害な分解生成物> : 情報なし

11. 有害性の情報

<急性毒性> : 区分4（経口）
区分4の成分を5%未満含む、未分類の成分を5%未満含むことより区分4とした。
<皮膚腐食性・刺激性> : 区分1
区分1の成分を含み、この製品のpHが13以上であることより区分1とした。
<眼の重篤な損傷・刺激性> : 区分1
区分1の成分を含み、この製品のpHが13以上であることより区分1とした。
<呼吸器感作性又は皮膚感作性> : 区分1（皮膚感作性）
区分1（皮膚感作性）の成分（トリエタールアミン）を5%未満含むことより区分1（皮膚感作性）とした。
<生殖細胞変異原性> : 分類できない
<発ガン性> : 分類できない
<生殖毒性> : 分類できない
<特定臓器・全身毒性（単回暴露）> : 区分2（中枢神経系、腎臓、呼吸器、全身毒性）
区分1（中枢神経系、腎臓、全身毒性）の成分を5%未満含む、区分2（呼吸器）の成分を10%未満含むことより区分2（中枢神経系、腎臓、呼吸器、全身毒性）とした。
<特定臓器・全身毒性（反復暴露）> : 区分2（血管、肝臓、脾臓、呼吸器）

区分2（血管、肝臓、脾臓、呼吸器）の成分を5%未満含むことより区分2（血管、肝臓、脾臓、呼吸器）とした。
<吸引性呼吸器有害性> : 分類できない

1.2. 環境影響情報

<生態毒性> : 区分3（水性環境急性有害性）
区分3の成分を5%未満含み、未分類の成分を3%未満含むことより区分3とした。
区分3（水性環境慢性有害性）
急性有害性の結果より推測

<残留性・分解性> : 情報なし

<生態蓄積性> : 情報なし

<土壌中の移動性> : 情報なし

<オゾン層有害性> : 分類できない
情報なし

1.3. 廃棄上の注意

<安全で環境上望ましい廃棄の方法> : 廃棄物は、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に委託して処理する。

<容器・包装の適正な処理方法> : 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後、認可を受けた産業廃棄物処理業者と委託契約して処理する。
容器などを洗浄した排水はそのまま流さず、廃棄物の処理及び清掃に関する法律および関係する法規に従って処理を行うか、専門の業者に委託する。

1.4. 輸送上の注意

国際規制

<国連番号> : 非該当

<品名> : -

<危険物クラス> : -

<容器等級> : -

<緊急時応急措置指針番号> : -

国内規制

<陸上輸送> : 取扱い及び保管上の注意に従う

<海上輸送> : 船舶安全法の規定に従う

<航空輸送> : 航空法の規定に従う

1.5. 適用法令

<消防法> : 非該当

<化学物質排出把握管理促進法> : 第一種指定化学物質（直鎖アルキルベンゼンスルホン酸塩、ポリ(オキシエチレン)エーテル硫酸エステルトリウム）

<毒物及び劇物取締法> : 非該当

<労働安全衛生法> : 表示・通知義務対象物質（水酸化ナトリウム、水酸化カルウム、トリエタノールアミン、イソプロピルアルコール、ジエチレングリコールモノブチルエーテル）

16. その他の情報

<引用・参考文献>

: GHS対応による混合物（化学物質）のMSDS作成法の研修テキスト 中央労働災害防止協会
16615の化学商品 化学工業日報社 2015年版
原料の製品安全データシート 各原料メーカー
GHS分類対象物質一覧 (独) 製品評価技術基盤機構
GHS対応モデルラベル・モデルSDS情報 厚生労働省
国際化学物質安全性カード (ICSC) 日本語版

<作成年月日、改定情報>

: 2019年7月3日作成

<その他>

: この情報は新しい知見により改訂されることがありますのでご了承ください。ここに記載された情報は、当社で調査できる範囲での情報であり、情報の完全さ、情報の正確さを保証するものではありません。化学品には予見できない有害性がありうるため取扱いには細心の注意を払ってください。本品の適正な使用については、使用者の責任において行ってください。